

絶滅危惧種 / 2

156 GTA

シリーズのトップグレードとして、
そしてブランドの伝統“Cuore Sportivo”を体現するモデルとして
2002年にリリースされた156GTA。
159の誕生とともにフェードアウトしてしまったが、
その圧倒的なパフォーマンスはまだまだ色褪せていない。



駆け込み需要が発端

特集を組むにあたって、正規ディーラーにおけるGTAモデルの中古車在庫状況について調べたところ驚くべき結果が出た。なんとベルリーナ(セダン)に限定すると首都圏に1台(全国でも3台のみ)しかストックがなかったのである。確か3年ほど前は、もう少し多くの車両が流通していたと思うのだが……。

そこで、試乗レポートのためにベルリーナを借りた神奈川県横浜市都筑区の「アルファ・ロメオ港北」と、スポーツワゴンGTAを在庫していた東京都世田谷区の「アルファ・ロメオ田園調布 アブルーブドカーセンター」の協力のもと、GTAシ

リーズの中古車事情について調べてみたので、ここで報告しよう。

まずはラインナップについて整理してみる。年式による細かい仕様の違いはあるものの、GTAシリーズには、2002年7月より導入されているベルリーナの156GTA(6段MT+左ハンドル)、2003年11月より追加された156スポーツワゴンGTA(6段セレスピード+右ハンドル)、そして2005年2月に設定された156GTAの6段セレスピード+右ハンドル仕様の計3タイプが用意されている。

2005年の夏、この3車すべての輸入終了(生産終了)の噂が流れ出すと同時に、まず新車の在庫と高年式/低走行距離中古車への問い合

わせが増え、瞬間に好みのモデル/外装色を選ぶ余裕がない状況になったという。だから現オーナーの中でも、トランスミッションにこだわったために第一希望のボディカラーを諦めた人、ベルリーナが欲しかったけれどスポーツワゴンを購入した人など、一部条件を妥協したケースも少なくないようだ。

相場といっても、サンプル数が少なくちょっと難しいが、正規ディーラーで販売できる車両だと350万円(ベルリーナ)が下限。走行距離が極端に少ない高年式の車両だと500万円台半ば(ベルリーナ、スポーツワゴンともに)のプライスボードを掲げていることもあるようだ。Text:佐藤貴昭
Photo:松本高好/五條伴好/丸山ヒロト



しつこいようだが、この車両が首都圏の正規ディーラーに唯一ストックされていた156GTAのベルリーナ。6段MT+左ハンドルの2002年式で、ちょっと珍しい“メタリックブルー”のボディ色に“モンテカルロブラック”と呼ばれるインテリアカラーを組み合わせている。走行距離は4万kmで価格は348万円。次ページより始まる試乗レポートに登場している車両である。
取材協力:アルファ・ロメオ港北 Tel.045-945-0156

左のベルリーナを求めて訪ねた「アルファ・ロメオ港北」にて偶然発見したスポーツワゴンのGTA。取材前日下取りで入庫したばかりのことだった。そのため車両価格などの具体的なデータはまだ決まっていなかったが、ボディカラーが人気の“クロ”ということもあり、おそらくすぐに売れてしまうだろう。
取材協力:アルファ・ロメオ港北 Tel.045-945-0156



こちらのスポーツワゴンGTAは「アルファ・ロメオ田園調布 アブルーブドカーセンター」のストック車両である。ボディカラーに加え、2003年式ながら走行距離が1.9万kmと少ないのも自慢したいポイント。この車両もすぐに売れてしまいそうな気配が漂っている。気になる価格は車検が2年付いて419万円。
取材協力:アルファ・ロメオ田園調布 アブルーブドカーセンター Tel.03-3721-1565